各 位

会 社 名 エコモット株式会社 代表者名 代表取締役社長 入澤 拓也 (コード:3987、東証グロース、札証アンビシャス市場) 問合せ先 取締役経営管理本部長 武田 研輔 (TEL. 011-558-2211)

2025年8月期(連結・個別)通期業績予想と実績の差異及び特別利益・特別損失計上に関するお知らせ

2024年10月15日に公表いたしました2025年8月期(連結・個別)の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年8月期 通期連結業績予想と実績の差異(2024年9月1日~2025年8月31日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益(百万円)	経常利益(百万円)	親会社株主に帰属す る 当 期 純 利 益 (百 万 円)	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	2, 996	33	40	21	4. 09
今回実績値(B)	3, 003	49	53	△35	△6. 68
増 減 額 (B-A)	7	16	13	△56	
増減率(%)	0.3	50. 4	34.8	_	
(参考) 前期連結実績 (2024 年8月期)	2, 692	7	23	△69	△13. 13

2. 2025年8月期 通期個別業績予想と実績の差異(2024年9月1日~2025年8月31日)

	売 上 高 (百万円)	経常利益(百万円)	当期純利益(百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	1, 235	60	41	7. 85
今回実績値(B)	1, 413	9	△157	△30. 04
増 減 額(B-A)	178	△50	△198	
増減率(%)	14. 5	△83. 4	_	
(参考) 前期個別実績 (2024 年8月期)	1, 404	15	△18	△3. 49

3. 差異の理由

(1) 連結業績

当通期連結業績につきましては、株式会社GRIFFYが担うコンストラクションソリューションが「現場ロイド」をはじめ、配筋検査ARシステム「BAIAS」、現場作業員の体調管理ソリューション「GenVital」等の様々なソリューションを全国的に拡販し、売上高及び各段階利益の予算を超過して着地したことにより、営業利益及び経常利益が計画値を大きく上回る結果となりました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、株式会社パワーでんきイノベーションの株式 譲渡による特別利益 15 百万円を計上したものの、訴訟和解金による特別損失 50 百万円及び太陽光発電設備 等の棚卸資産評価による特別損失 19 百万円を計上したことにより、計画値を下回る結果となりました。

(2) 個別業績

当通期個別業績につきましては、遅延が生じておりました大型開発案件及びau リニューアブルエナジー株式会社向けの太陽光発電設備案件の系統連系が完了し、売上が計上されたことにより、計画値を上回る結果となりました。

一方で、太陽光発電設備の案件が予想していた利益率の確保が難しい案件が多く、また当社が保有していた株式会社パワーでんきイノベーションの株式譲渡による特別損失 150 百万円の計上により、経常利益及び当期純利益が計画値を大きく下回る結果となりました。

以 上